

いえぞん

平成31年度予算 P2~P3
 予算審査特別委員会質疑 P4
 主な事業予定 P8
 一般質問 P9~P13
 視察・研修報告 P14~P15

No.165

令和元年6月1日



伊江島ハイビスカス園と伊江村野球場が完成



伊江島ハイビスカス園落成



みんなで
利用するつつちん

つつちん

議会広報 いえぞん

発行/伊江村議会 〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前 TEL:0960-49-2924
編集・印刷/株式会社ちとせ印刷 TEL:098-879-5814



題字提供はこの方 いえぞん

あげだちよ
安慶田 千代

大正10年2月15日生
東江前区・アゲダンヤ

- ① 満98才にして器用な千代さん。
趣味である大好きな編み物に毎日夢中です。
- ② 題字の「いえぞん」も一生懸命書かれました。
- ③ 明るくお元気に老人ホームいえしまで生活されています。

編集後記

伊江島一周マラソン大会から伊江島ゆり祭りと島中のにぎわいから少し静かな島を取り戻したと感じられる今日この頃…。

伊江村議会においては、二人の新しい議員が仲間に入ってから早や8カ月。

一般質問や質疑も増え、議論が深まり、より活発な議会となっています。今年から始めた各区総会等における議会活動報告も村民から好評を得ておりこれからも継続し、これまで以上に開かれた議会を目指します。議会の活動が村民の皆さんにわかりやすい紙面になるような広報誌づくりに一層努力してまいります。

伊江村議会広報特別委員会 副委員長 島袋義範

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



つつちん

6月定例会予定 6月12日(水)午前10時～ 傍聴を希望される方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

平成31年 第2回 定例会(3月)

平成31年度 予算総額82億5,523万3千円(6会計)を可決

一般会計は58億2,100万円 前年度比6億1,400万円の減額予算

平成31年第2回定例会(3月)を、3月7日から20日までの12日間の会期で行いました。

本定例会では、平成31年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成30年度補正予算など30件の議案を審議し、原案のとおり可決しました。(議決結果は14ページをご覧ください。)

また、開会初日には村長の施政方針が示されました。また、5人の議員が一般質問を行ない、村の対応や考え方を問いました。

平成31年度各会計の当初予算案は、予算審査特別委員会に付託され、原案のとおり可決。

平成31年度予算総額 会計別当初予算

(単位:千円)

| 会計名 | 平成31年度予算額 | 平成30年度予算額 | 前年度比増減額 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 5,821,000 | 6,435,000 | ▲ 614,000 |
| 診療所特別会計 | 343,500 | 347,000 | ▲ 3,500 |
| 国民健康保険特別会計 | 897,600 | 865,456 | 32,144 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 67,897 | 68,224 | ▲ 327 |
| 水道事業会計 | 208,886 | 210,313 | ▲ 1,427 |
| 船舶運航事業会計 | 916,350 | 806,282 | 110,068 |
| 合計 | 8,255,233 | 8,732,275 | ▲ 477,042 |

平成31年度の一般会計予算は6億1,400万円の減額となっているが、野球場やハイビスカス園工事の大型事業等の完成によるものである。船舶運航事業の約1億1,000万円の増額はフェリーぐすくのリース料や燃料の高騰によるものである。

一般会計 歳入内訳と予算に占める割合

自主財源 1,232,097千円(21.2%) 依存財源 4,588,903千円(78.8%)

※村の財源は国や県からの交付金などの依存財源が約8割を占め、一方、村税や使用料などの自主財源は約2割となっており、自主財源確保は依然として厳しい状況にある。

一般会計と特別会計

一般会計は、村税などの収入をもとに一般的な各種事業の事務を処理するための会計。特別会計は、受益と負担の関係を明確にするため国保税などの特定の収入をもとに、特定の事業の事務を処理するための会計。(5会計)

自主財源と依存財源

自主財源とは、村が自主的に徴収または収納することができる財源のことで村税や諸収入など。依存財源とは、国や県から交付されたり、割り当てられた財源のことで地方交付税や国庫支出金、村債など。

一般会計 歳出内訳

(単位:千円)

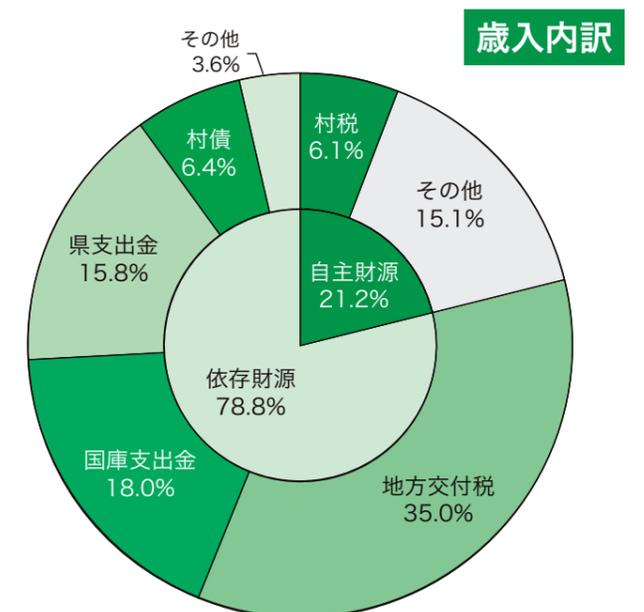
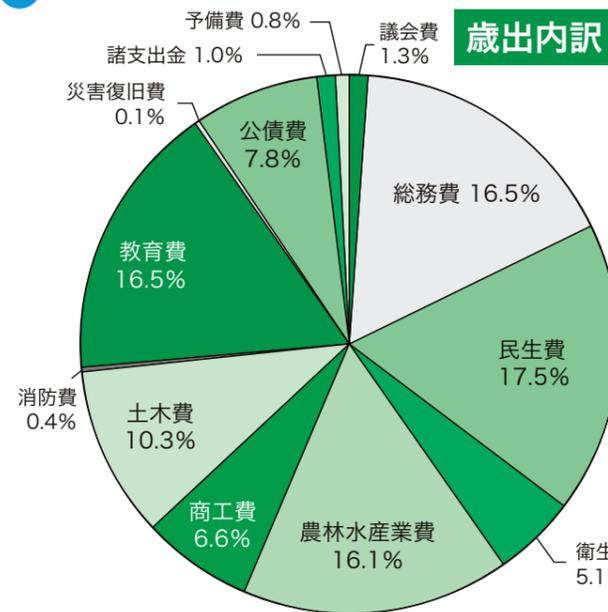
| | |
|--------|-----------|
| 議会費 | 73,629 |
| 総務費 | 963,480 |
| 民生費 | 1,017,243 |
| 衛生費 | 299,520 |
| 労働費 | 0 |
| 農林水産業費 | 939,487 |
| 商工費 | 382,675 |
| 土木費 | 597,768 |
| 消防費 | 25,936 |
| 教育費 | 958,477 |
| 災害復旧費 | 3,502 |
| 公債費 | 453,283 |
| 諸支出金 | 56,000 |
| 予備費 | 50,000 |
| 合計 | 5,821,000 |

一般会計 歳入内訳

(単位:千円)

| | |
|-----------------|-----------|
| 自主財源 | 355,809 |
| その他 | 16,483 |
| 分担金及び負担金 | 80,930 |
| 使用料及び手数料 | 96,692 |
| 財産収入 | 15,002 |
| 寄付金 | 569,011 |
| 繰入金 | 1 |
| 繰越金 | 98,169 |
| 諸収入 | 1,232,097 |
| 自主財源合計 | 1,232,097 |
| 地方交付税 | 2,040,000 |
| 国庫支出金 | 1,050,508 |
| 県支出金 | 920,026 |
| 村債 | 371,700 |
| その他 | 44,003 |
| 地方譲与税 | 277 |
| 利子割交付金 | 629 |
| 県民税配当割市町村交付金 | 706 |
| 県民税株式等譲渡所得割交付金 | 71,266 |
| 地方消費税交付金 | 1,644 |
| ゴルフ場利用税交付金 | 10,094 |
| 自動車取得税交付金 | 75,970 |
| 国有提供施設等所在市町村交付金 | 480 |
| 地方特例交付金 | 1,600 |
| 交通安全対策特別交付金 | 4,588,903 |
| 依存財源合計 | 4,588,903 |
| 歳入合計 | 5,821,000 |

※5月1日からは、令和元年度予算へ移行



反対討論

一般会計予算案

10番 名嘉 實 議員

本予算案は、総額58億2,100万円、前年度比6億1,400万円の減となっております。減額の主な要因は、ハイビスカス園整備事業、総合運動公園の野球場整備事業の修了による減であります。新たな事業として総務費では、真謝・西崎区の住環境負担軽減事業、パークゴルフ場整備事業、平和推進事業、その他に補正予算に続き、真謝・西崎区住環境負担軽減基金の創設5,000万円、村民レク広場関連費が793万円増額されました。真謝・西崎区の防音工事は、本予算案では10件の工事予定ということですが、どこから始めるかさえ、まだ決まっておりません。オスプレイの重低音被害は、防音工事では防げないと言われております。真謝・西崎区の住環境負担軽減は米軍のやりたい放題の訓練をやめさせない限り、解決できません。またこの事業のための基金の財源は一般財源といいますが、一般財源負担分を特定防衛施設周辺整備調整交付金基金で充当することによって、浮かしたことによるものであります。すべての国民に番号をつけ、政府が管理するためのマイナンバー関連の予算も、引き続き計上されました。マイナンバーカードの発行は、2月末で人口4,569人に対し、発行枚数は696枚で人口比15.1%にすぎません。前年同時期の11.7%から3.4%しか増えておらず、政府の思惑どおりには進んでいません。私は米軍の訓練の実態を監視する職員に対して、ブラック企業のような働き方をやめ、時間外手当の支給を求めてまいりましたが、遅まきながら、本予算案では全ての部署を対象に、時間外手当の予算計上が行われました。遅すぎた対応ではありますが、頑張っている職員の労苦が少しは報われることとなります。民生費では中央保育所にかわる保育所建設のための予算が計上されました。保育所に入れない待機児童解消のため、早期の施設建設を望むところであります。

賛成討論

9番 内田 竹保 議員

平成31年度伊江村一般会計予算案に、賛成の立場で討論を行います。
本予算案は対前年比9.54%、マイナスの58億2,100万円ですが、これは総合運動公園整備事業やハイビスカス園の整備事業等の完了によるものが大きな要因であります。新規事業では、農林水産業の振興では、畜産総合施設整備、沖縄製糖業体制強化事業、陸上養殖可能性調査事業施設、本村の未来を担う教育振興では、伊江村小学校教員宿舎整備、ICT機能強化事業、教育費の負担軽減事業、幼稚園2年保育、商工観光の振興では、観光施設の整備、観光客誘致に関する事業、プレミアム付商品券事業、ほかにはパークゴルフ場整備事業、西保育所建設事業、真謝・西崎区の住環境負担軽減事業、高齢化社会への対応、川平団地建設事業等、多岐にわたる事業の予算計上であります。

国保会計繰出金では4,000万円の法定外繰り出しを行い、国保の税率は据え置かれました。高過ぎる国保税をこれ以上、引き上げしないよう、今後も法定外繰り出しを継続すべきだと考えます。水産業費では、陸上養殖可能性調査事業推進交付金事業が計画されておりますが、過去の養殖事業は海中、陸上を含め、全て失敗しております。今後同じ轍を踏まないよう慎重に進める必要があると考えます。

土木費では、川平団地の建設費が計上されています。家賃が安い村営住宅の増設が今後とも行われることを望むものであります。教育費の貧困対策費では、平成30年度多額の不用額が生じました。使いやすい制度にすることを望みます。

本予算案にも自衛官募集業務委託金が計上されました。村が実施している業務は、自衛隊を宣伝するポスターの張り出しだけということですが、国の軍事費は31年度も過去最高を更新し、前年度比663億円増の5兆2,574億円となっております。安倍総理は、トランプ大統領の言いなりになって、要求されるがままに高額な兵器の爆買いをしていると酷評されているところであります。米軍とともに海外で戦争する仕組みがつけられた現在、軍事力の拡大競争をやめさせることは、去る大戦で悲惨な体験をし、平和憲法のもとで暮らす大多数の国民の声だと考えます。とりわけ沖縄では二度と同じ体験はしたくないという思いが、去る県民投票の結果にも表れていると考えます。本予算案には平和学習のための演劇「木の上の軍隊」の開催予算も計上されています。紛争は戦争にせず外交で解決すべき問題であり、軍事力強化に突き進むための自衛官の募集業務は拒否すべきであります。以上、反対討論とします。

また、民生費においては、初めてと思われる予算額が10億円を超えました。これは国民健康保険会計繰出金、保健基盤安定繰出金、介護保険広域連合負担金などが大きくウエートを占め、村民の健康、高齢者の福祉向上には不可欠な拠出予算であります。離島であり1島1村の本村は、平成15年に住民投票で合併をしない意思が決定されました。自主、自立を目指し、村と村民が一体となって取り組んでおり、今後においても離島がゆえに厳しい環境であることは間違いありません。伊江村第4次総合計画や、「まち・ひと・仕事創生総合戦略」と「第4次伊江村行政改革大綱」を基本姿勢に、島袋秀幸村長は、あらゆる施策を推進してまいりました。今後とも村民主体の村政、村民参画による協働のむらづくりを着実に推進達成されることを望み、賛成討論とします。

予算審査特別委員会質疑

問

平成31年度パークゴルフ場の整備が計画されているが、運営体制やプレー料金等の設定はどのように考えているか

答

施設が完成した後、条例を制定し、管理運営体制やプレー料等を決定していく。村民が気軽に利用でき、健康づくりの場としてパークゴルフ場の整備に取り組んでいきたい。

問

村内では、近年シニアカーに乗る方が増えてきている。現状は、歩道を走行したり、逆方向からの走行も見られ、幸いにも大きな事故は起きていない。しかしこれだけの台数が普及しているので、安全講習会等を行い交通ルールの遵守徹底をすべきでは

答

シニアカーの安全教育は非常に重要で必要性も感じている。交通安全協会や駐在などと、連携を図りながら講習会の実施に取り組んでいき、事故の未然防止対策を行いたい。

問

平成31年度から幼稚園2年保育が開始する。「幼稚園」や「預かり保育」という言葉が説明としてあるが、「午前中は幼稚園」、「午後からは預かり保育」ということで、分かりやすい説明を

答

4歳児・5歳児とも14時まで幼稚園での保育になる。それ以降、4歳児は幼稚園側で預かり、5歳児は民間保育園で預かるように区別している。家庭環境（共働き等）もあり、村では14時以降の預かり保育もスタートする。

問

民俗歴史資料館（仮称）建設に向けた取り組みは

答

貝塚等の史跡や埋蔵文化財だけの資料展示ではなく、戦争資料や平和資料、歴史的な資料展示ができる施設にするのは、非常にハードルが高いと思われる。今後建設に向けて慎重に協議を進めていきたい。

問

台風時の停電について、毎年同じ箇所が停電している。業者においても暴風の中、復旧作業に尽力しているが、どうしても手が間に合わず、復旧に時間がかかることから村民が困っている状況にある。停電する確率を少しでも軽減できる対策はないか

答

これまでも沖縄電力に要請をしてきた。現在東江前付近から幹線を変えて、災害を受けたときの中心になる役場が停電では困るということで、停電も少なくなっている。今後も沖縄電力には、村全域の停電が軽減できるように要請していく。

問

毎年ゆり祭り期間中、本部港では大分混雑して、ターミナルで待たれているお客さんがあふれている。長時間待たされて、「島に渡らなくていい」ということで帰ったという話も。この期間中のフェリー乗

答

船への観光客への対応等は以前は、整理券がなく長時間ターミナル周辺で待つてもらっていた。整理券を配付して、定員になった時点で、次の便への案内をしている。今回もこのような対応でフェリー乗船の対応をしていく考えである。



久米島パークゴルフ場

伊江村議会の主な活動等

平成30年

- **議会開会数**(定例会4回、臨時会6回)
- **一般質問**(延人数23人、質問件数41件、一人当たり1.8件)
※一般質問における議員一人あたりの発言時間は30分です。
- **議会傍聴人数**(118人、定例会における傍聴平均人数約30人)
- **意見書及び抗議決議の可決**
在沖米軍によるパラシュート高高度降下訓練中におけるフェンス外へのパラシュートの落下事故に対する意見書及び抗議決議(4月19日)
米軍F15戦闘機墜落事故に関する意見書及び抗議決議(7月20日)
最新鋭ステルス戦闘機F-35B及びオスプレイ等の訓練計画の見直しと基地機能強化に断固反対する意見書及び抗議決議(12月21日)
- **各種研修会及び郷友会関係行事、各イベント等への積極的参加**



一般質問とは、それぞれの議員が考える地域の課題などについて自分の問題意識や考えを示して、執行機関(村長)の考えをただしたり、課題への対応について提案をしたりする場です。

議会は何をすることで?

議会の定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、必要に応じ臨時会が開かれます。全議員で議案の審議をし、村の仕事や村のお金の使い方を決めます。議会は最高の意思決定機関です。議会と村長は協力して、住民の願いや意見が実現できるよう仕事をしています。



◆公民館や公的機関で議会中継を見ることが出来ます。

議会を傍聴されたい方は、議会事務局(役場3階)で手続きを済ませ入場ください。また、公民館や公的機関で議会中継を見ることができます。伊江村ホームページでは会議録や議決結果、議会広報誌がご覧になれます。

伊江村議会 検索

反対討論

船舶運航事業会計予算案

10番 名嘉 實 議員

私は船舶運航事業会計に対し、米軍の車両及び兵士を航送することが、米軍の訓練に加担することであり、村民や観光客に対しても悪いイメージを与えていること。船舶職員にとっても迷惑車両であること。危険物の積載についても、実質的にチェック体制がないことなどの理由から、米軍の車両、兵士の航送をやめるよう求め続けてまいりました。昨年12月から始まったF-35Bステルス戦闘機の訓練の前後には、基地への進入路の道路標識の倒壊や畑の踏み潰しなどの事故が相次ぎ、今年に入ってから油圧オイル漏れによる道路汚染などの事故が起きています。LHDデッキ等の工事が終了し、12月からF-35Bの本格運用が始まりましたが、F-35Bの訓練が始まった12月前後のフェリーによる米軍車両の航送実績は、対前年度比、金額で10月は150%、11

月は124%、12月は189%、1月は165%、2月は217%と激増しております。兵士については、C-130や、オスプレイ、CH53ヘリなどの航空機による空輸などがあるため、フェリーによる兵士の搬送実績は、訓練の激増とは直接的な比較はできません。また、バジー船による訓練機材の航送もあるため、米軍車両が年間どれだけの台数が上陸しているか、全体像はわかりませんが、フェリーで航送されている米軍車両の実績を見ると、LHDデッキ等の完成と、F-35Bの訓練に連動して増えていることは確実であります。運送料を払えば、米軍車両も一般車両と同等、航送を拒否できないという考え方を改め、爆音被害にさらされている村民のために、米軍の訓練に加担する車両、兵士の航送はやめるべきです。以上で、反対討論とします。

賛成討論

9番 内田 竹保 議員

離島である本村にとって、沖縄本島と往復する生活産業、経済を支える交通機関として果たす役割は大きなものがあります。平成30年7月に新造船フェリー「ぐすく」が就航し、バリアフリー化が図られ、先に就航したフェリー「いえしま」とともに、旅客定員や車航送台数も大幅に増え、村民をはじめ、島を訪れる関係者や観光客にも快適な船旅が満喫できると喜ばれ、大変好評であります。フェリー「ぐすく」は、リース事業であり、向こう11年間、毎年2億1,800万円の償還があり、一時的に赤字決算となりますが、幸い、国、県の離島航路運航安定化支援事業補助があり、将来的に黒字決算が見込ま

れるわけであります。また平成32年度には、伊江村の船舶運航事業が100周年の節目を迎えると同っております。村長の施政方針の中でも、記念事業の検討、社会経済情勢を見極め、より一層の安全運航、旅客サービスの向上に努め、本村の観光振興と産業発展、住民生活の利便性向上と経営改善に向けて取り組むと、力強い方針が示されました。船舶運航事業は、沖縄本島と往復できる、唯一の公共機関であり、今後とも安定した経営が確立できると確信し、賛成討論します。



令和元年度の主な事業予定

村では住民の福祉の向上や快適で住みよい村づくりに向け、各補助事業等を活用し次の事業に取り組みます。(抜粋)

農林水産業の振興



畜産総合施設整備事業

(設計・工事)
畜産農家の高齢化対策や飼育頭数の確保に向けた子牛等の預託

沖縄製糖業体制強化事業(設計)

村外からの農業季節就労者宿舎建設に向けた設計(26部屋)

陸上養殖場可能性調査事業

陸上養殖施設における海藻(青のり)養殖の実証実験

教育の振興

伊江小学校教員宿舎整備工事(工事)

教員宿舎を新築し、教職員の居住環境の整備を図る(8戸)

小学校ICT機能強化事業

各学校に電子黒板や教室にタブレットを購入

教育費負担軽減に関する事業(継続)

離島高校生修学支援、給食費の半額助成など

幼稚園2年保育の実施(R1～)

4月から4歳児も各幼稚園で保育をする

商工観光の振興

観光施設の整備事業(工事)

旅行村トイレ、リリーフィールド公園内など

観光誘客に関する事業(R1～)

ゆり祭りイベント強化、民泊キャラバンなど

プレミアム付き商品券事業(継続)

商工会と連携し地域活性化や村内消費を図る



その他の事業

パークゴルフ場整備事業

(設計・工事)
村民の健康維持・増進や交流を図るレクリエーション施設



(仮)西保育所建設事業(R1設計・R2工事)

中央保育所の老朽化に伴う建替え(移転予定)

真謝区・西崎区住環境負担軽減事業(R1～)

騒音等に配慮した防音サッシや空調設備の整備

高齢化社会への対応(継続)

老人クラブ連合会主催行事支援やタクシー利用助成など

川平団地建設工事(繰越事業完成(12戸))

本部港立体駐車場の進捗状況について

伊江村議会においては、平成28年6月17日に本部港「立体駐車場」の早期整備に関する要請決議をし、本部町議会と共に県知事及び県議会議長へ要請行動を行い、整備に向けた実施設計や工事が始まりました。現在、沖縄県が事業主体となって平成31年7月頃に完成予定で整備を進めていました。しかし、東京オリンピック各会場建設工事に伴い建築資材の確保が困難なため、完成が遅れる見通しとなっています。(駐車料金は沖縄県や村、本部町との協議のうえ決定されます。)ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

村政のここを問う！

3月定例会 一般質問



亀里 敏郎 議員

平成30年度沖縄離島体験交流促進事業（離島版）離島体験報告会（首長提言）「こんな伊江島になるといいな」への将来展望を問う。

問 児童たちは、あと8年もすると立派な社会人となります。

児童たちの思いを理解、そして行政は真摯に受けとめ、「こんな伊江島になるといいな」への足掛かりになればとの強い思いで質問する。

1. 伊江島に高校を。

答 近年は、中学校卒業者の約95%が

高等学校に進学するようになり、将来の目標に合った高等学校へと進学していると思われる。沖縄県の中学校卒業者数は、平成12年をピークに減少を続け、平成31年3月にはピーク時から4347人減少している。北部地区は、他の地区へ流出が多く、地区内

の高校への進学が少ないことが課題になっている。

県立高等学校編成整備計画では、本部高等学校と北山高等学校の統合等が計画がある。そのようなことから、本村への高等学校の建設は現実的に考えた場合、確率は低いと思われる。国は「高校のない離島におけるICTを活用した高校教育の実証実験」を実施しており、他の学校で実際行われている授業を、離れた離島の教室でインターネット等を通して授業を受けられるもので、リアルタイムで実際に受けている授業と同じような環境の構築を目指している。このような遠隔での高校教育を確立するには、クリアすべき課題も多い。しかし近い将来、村外の高等学校に通うことなく村内で高校教育を学び卒業が可能になる画期的な仕組みによる教育環境の到来に期待しつつ、平成31年度から実証事業の実施を行い、当該事業の推移を見定めながら本格的に取り

組んでいきたい。

2. 伊江島に産婦人科を。

答 本村では、妊娠・出産にかかる経済的負担を軽減し、妊婦健診通院時の船賃助成や出産待機時の宿泊料助成などを実施している。また、台風等のやむを得ない場合に備えて、対応できるよう医師や看護師が講習会へ積極的に受講し、体制を整えている。本村での子ども

の出生数から考えると、産婦人科を常設するには、医師の確保や財政状況などから非常に厳しいと考えられるが、妊娠・出産から子育て支援策を切れ目なく実施して、安心して子供を産み、育てられる制度を整えることが大切である。その実現に向けて積極的に取り組んでいく。

3. 野球場を使う人やチームは球場の料金やフェリー代を割引すること。

答 伊江村野球場も完成し、5月には供用開始の予定である。供

用開始にあたり、使用料を定めることになる。その案では、村外からの利用者はフェリー運賃等の交通費がかかるのを勘案し、できるだけ安価な料金設定を考えている。また、練習試合等で小学生チームが本村を訪れた場合は、利用料が1時間当たり1000円とした。ただし本村のチームとの練習試合であれば、村内のチームは無料なので、対戦相手の村外チームは、料金は発生しないよう配慮している。しかし、公共施設の使用料については受益者負担の原則に基づき徴収するという考え方だが、青少年健全育成の観点から、その状況に応じて割り引くことも念頭に施設の管理運営にあたっていきたい。



「こんな伊江島になるといいな」村長へ提言する児童



並里 晴男 議員

問 ターミナル棟の狭い休憩所の現状や今後見込まれるクルーズ船乗客などの団体誘客に対応する休憩所の整備は、喫緊の課題である。

答 伊江村観光振興基本計画に基づきますと、年間約13万人、それを18万人まで増えることが見込まれるというような基本計画があり、この基本計画の段階では、クルーズ船の対応については考えていたか。

問 年度に策定をした。基本計画には、具体的な数字・目標を明記していない。

答 将来に向けたすばらしい眺望ができるような休憩スペースとして、今後検討をしていただきたい。

問 真謝区、西崎区の住民の方々に、長年、基地があるがゆえの騒音や事件事故等に翻弄されてきた経緯があり、「真謝区・西崎区住環境負担軽減事業」を計画している。

答 昭和三十九年から昭和五十四年まで行われており、真謝・西崎区の中の93世帯が実施された。

問 真謝区、西崎区との協議し要望できないか。

答 今後LHDデッキの工事に伴う騒音対策として国に特定防衛調整交付金に上乗せできないか、事あるごとに要請していきたい。



ターミナル棟2階のスペース

将来の伊江村観光振興に向けては「くすに施設(2階)の増改築を

村長／具体的な休憩所が可能なのか。内部で検討をしたい。

問 平成24年4月から「沖繩離島住民等交通コスト負担軽減事業」によりフェリー運賃割引制度がスタートし県内離島と本島への船運賃や航空運賃への一部が助成され本島への通院や買い物その他、さらには高校生等の帰省時のフェリー運賃が割引され家計並びに教育費負担が軽減され、その恩恵を実感でき大変感謝されている。その運賃割引制度の恩恵を郷友会会員等にも適用を拡大させ郷友会会員の皆さんにこれまで以上に伊江島・ふるさとに足を運んでいただき島の皆さん

答 平成24年度からフェリー運賃、さらには平成26年度から自動車航送料にも運賃の割引制度を実施している。ご質問の郷友会会員等への運賃割引制度を拡大させ多くの皆さまが帰郷されることは大変喜ばしい事であり郷友会とも連携を図りながら運賃割引の適用範囲、さらに必要財源の試算について調査研究を進めたいと考えている。



島袋 義範 議員

離島運賃割引制度を郷友会会員等へ適用拡大を図れ！

とも交流を深める機会を増やし島の活性化に役立ててもらいたいと考える。その実現は可能か。

若者の郷友会行事への参加にもつながると考える

村長／実施にあたっての郷友会の協力は不可欠で助成額は半額ぐらゐを考えている。

問 村の老齢化は年々進んでおり、子ども年齢になると両親の介護の為に月に2回〜3回島に帰っておられる現状をみた場合、今後そのような方々が増えることが予想され、早めの実施が求められている。正月、旧盆に家族で帰省するとなればフェリー代だけでなく手土産も準備しなければならず万の金が必要になり経済的な負担が大きい。それらの経済的負担を少しでも軽減し親に子や孫の元気な姿を見せに帰れるようにしてほしい。また郷友会においては若者の郷友会行事への参加が少ない事が心配されており、この制度を適用させることにより二世代、三世

答 若者が両親や祖父母のルーツである伊江島と深いつながりをもつ効果はあると感じており、イージマ郷友会の宮里会長からは就任あいさつで「フェリー運賃が高いか



代若者に伊江島、自分のルーツを再確認させ郷友意識の再確認にもつながる。さらにこの割引制度の適用には歴代の村政功労者や名誉村民等も対象にすべきだと考えている。すでに伊平屋村においてはこの割引制度を平成27年度6月から郷友会会員にも適用し大変喜ばれ郷友会会員も増えたと同様である。制度設計についてもすでに伊平屋村で実施されており参考にすれば早めに出ると思うが。

ら安くしてほしい。会長になって私の最初の希望です」とも言われたのを覚えている。割引の制度設計にあつての郷友会の協力は不可欠で、助成額は半額ぐらゐだと個人的には考えている。郷友会との議論を加速させその実現に一生懸命取り組みたい。



名嘉 實 議員

問 運転免許証の切り替え停止や自主返納でシニアカー利用者が増えている。自動車を
使用できなくなった高齢者や足の不自由な方々にとって買い物や診療所への往來など、日常生活に
なくてはならない必需品
になっているが、所得の
低い方々のシニアカー購
入時に助成はできないか。



答 承知のとおり、シニアカーは、2025年には団塊の世代が後期高齢者へ移行す
ることから、今後益々利
用者の増大が予測される。
それらを背景に所得の
低い方への助成について
は、高齢者福祉の観点か
ら有効な助成制度を検討
していきたい。

所得の低い方々へのシニアカー購入補助はできないか。

村長／高齢者福祉の観点から助成制度を検討したい。

問 本村における事務事業については、2年にわたる議会傍聴、また議員として活動を始めてから4カ月余りの中で多岐多様にわたることが確認できつつある。

しかし、多岐多様にわたることでの職員の処遇、休職者の多さは正直驚かされている。これらの問題については、村役場内の体制によるものなのか。職員の資質によるものか。

のか。議論が分かれるかもしれない。対応する職員の生産性を向上させることで、村民サービスにリソース、この表現がいいのかどうかかわらないが、財源なり人員等を再配分していくことが必要なのではないかと
思慮される場所である。村当局として事務事業と、職員定数の見直しを行う考えがあるのか問う。



虹江 修 議員

**伊江村の事務事業と職員定数を
見直しする考えは**

村長／労働条件の改善に努め、生き生きと働ける職場環境づくりに取組んでいきたい。

答

少子高齢化や人口減少が進行する社会潮流の中で、小さな離島の本村の行政を取り巻く環境は、極めて厳しい状況にある。厳しい環境にある中で、村民サービスの水準を向上しつつ、地方自治の本旨である「最小の経費で最大の効果を上げる」ため、行政経営的な視点に立ち、限られた財源、人員、資源で効果的な行政運営に努めている。質問の趣旨である職員定数と伊江村全体の業務量が適正な中で役場の行政事務を執行していくというのは、永遠の課題でもあり、そこがしっかりとできていないと、業務もあまり円滑にできないし、休職者の問題にもつながっていくと思っている。そのよ

西崎の畜産農家での牛の異常分娩や事故死について

村長／原因においては、迅速な情報収集と実態把握に努めたい。

問

畜産農家6戸の内4戸で異常分娩や事故死、流産、原因不明の死亡などが起きている。今のところその原因が米軍機の訓練によるものなのか分かっていない。異常分娩、死産、流産、事故死などは村全体的な傾向なのか、一部地域だけで特に起こっていることなのか。

答

農林水産課では、当該地域を訪問して、牛が死亡した日時や牛舎の環境、牛の様子、獣医師の見解を聞き取るなど情報収集を行なった。現状における他地域との比較や同時期での死亡牛の推移を比較検討してみたところ、他の地域でも疾病や季節の変化等で死亡事例が見られることから、現在のところ一部地域

うなことがないよう、職員の労働環境を良くする為には、指針・計画等を策定し、行政サービスに取り組みでいきたいと思う。これまでの経験値と現時代に合わせた職員数がどのようなものかを、庁内に検討委員会を設置し、今後内部でしっかりと検討したい。

うのは、常に念頭に入れながら、職員の仕事を推進させるといふ部分では、当然のことだと思う。今後、休職者が出ないよう、適正配置も含めながら、労働条件の改善、そして明るく楽しく、みんながいきいきと働ける職場の環境づくりに今後、職員一丸となつて取り組んでいきたい。



辺野古埋め立てへの賛否を問う県民投票結果について

村長／結果を尊重し、日米政府には県民の声を傾けていただきたい。

問

辺野古への新基地建設に伴う埋め立てへの賛否を問う県民投票が2月24日
投票され、反対票は43万4273票となり、
デニー知事の得票を上
回った。

ところが政府は、沖縄県民の圧倒的多数の新基地建設反対という民意を無視し、投票日の翌日、

25日(月)から新基地工事を強行した。村長の見解は。

答

投票総数の71%を超え有権者が「反対」の票を投じた結果を尊重し「日米両政府には県民の声を傾けてもらいたい」と認識しているところである。

の傾向ではないと考えている。F-35Bの訓練状況については、今後も担当課を中心に離着陸訓練回数把握及び飛行経路や騒音の状態など情報収集に努

めながら、村民はもとより家畜等への被害がないかも含め注視したい。今後も畜産農家に対しましては、家畜に異常が発生した場合は、早めに役場及び和牛改良組合、獣医師等へ連絡いただき協力をお願いするとともに、担当課においても迅速な情報収集が図れるよう実態把握に努めていく。

令和元年度北部市町村議会議長会

視察・研修報告

議長 渡久地 政雄

日時 令和元年5月9日(木)～13日(月) 4泊5日
私も北部市町村議会人として、やんばる地域の将来を展望するとき、国内の事例研修にとどまることなく、海外の事例や事情を把握し課題解決への取り組みや地域振興のあり方について大所高所から果敢に議論し、政策形成に反映させる。

視察研修先 石垣・台湾・マカオ・香港
視察団 23名 団長：北部市町村議会議長会 会長 石川 博己
(本部議会議長)
副団長：北部市町村議会議長会 副会長 渡久地政雄
(伊江村議会議長)

- 1日目、12市町村会議長始め総勢23名で初日クルーズ船観光客の受け入れ状況について(石垣市観光課より)オプショナルツアーやフリー客の動向調査。石垣市及び観光協会等の受入の取り込みについて説明、意見交換後、クルーズ船入港の下船に伴うC-IQ施設の状況視察。その後クルーズ船へ乗船し、台湾基隆へ17時間の船旅。
- 2日目、下船後台湾駅地下(株)新垣通商が運営で沖繩を中心とした全国の物産展示、販売施設を視察。駅近くには台湾シェアサイクル「YouBike」のシステムについて勉強し試乗をした。
- 3日目、飛行機で香港着。シャトルバスで世界最長55km港珠澳大橋を渡りマカオへ入国。
- 4日目、フェリーで香港へ。海上より世界最長の大橋を眺望。香港からフェリーで長州島へ。
- 5日目、香港航空で那覇着

研修内容 — ① 石垣・台湾

1 クルーズ客船及び関連施設の状況

アジアのクルーズ人口は中国を中心に急増しており、各クルーズ船社は大型客船の建造により、中国等を拠点に日本への寄港を増加させる意向で、国はクルーズ船パスやC-IQ(税関・出入国管理・検疫)施設の整備など官民連携による国際クルーズ拠点の形成が急ピッチで進められている。

沖繩への寄港回数は500回を超えさらに増加が見込まれる。本部港が運用開始されると3千人規模のクルーズ船が年間約100回寄港予定されており、新たな観光ルートの形成やクルーズ船への食糧等の物資補給など、地域振興への波及が期待されている。



クルーズ船乗船前

2 日本物産常設アンテナショップ (台北駅地下街第一広場)

那覇市の(株)新垣通商が運営する日本全国の物産展の開催やテストマーケティング、地域メーカーの海外進出を支援。北谷町は毎年物産展開催。伊江村の商品も常時展示販売可能との事である。

2 マカオ世界文化遺産

マカオの人口は約58万人、面積は30km²で日常生活地域の中に世界遺産密度が最も高い。年間の観光客数は3千万人を超えている。

3 香港長州島

長州島は人口が3万人、面積は2.46km²で島には救急車などの緊急車両以外に車はなく、交通手段は自転車か徒歩である。観光の島に年間40万人の観光客がおとずれ賑わっている。島には、高校・大学がないため、学生はフェリーで通学している。1日の便数が多く、ほぼ24時間運航している。特に環境保全には力を入れておりゴミのポイ捨てには罰金を科している。



長州島の様子

長州島の祭り

研修内容 — ② 香港・マカオ

1 港珠澳大橋全長55kmの世界最長の海上橋

平成30年10月に開通し6車線(片側3車線)これまで4時間かかっていた珠海と香港空港間の所要時間が45分に短縮され、観光や物流の活性化が期待されている。我が北部地域では「離島の振興なくして北部の発展はない」という視点から、伊平屋・伊是名間や本部・伊江島間の架橋等を推進し、一刻も早く実現させたい。今後は国内外の離島架橋のあり方を調査・研究していく必要がある。



シェアサイクルを試乗する

シェアサイクル(台湾)

紙面の関係上すべての報告は出来ませんがご理解下さい。議会としましてはクルーズ船受入に向けた視察研修を行い今後の伊江村のさらなる観光振興に向け取り組んでいきたいと思っております。

この度の研修会へ参加する機会を与えて下さいました当局始め関係者の皆様にお礼を申し上げ報告と致します。感謝

伊江村議会議長 渡久地政雄

議会の活動

3月

- 1日 新生活推進連絡協議会(議長)
- 2日 団結道場保存工事完成お披露目会式典
- 4日 沖縄防衛局表敬(議長)
- 7日 第2回伊江村議会定例会(20日まで)
- 9日 伊江中学校卒業式(全議)
- 16日 北部市町村議会議長会 第4回定例総会(議長/名護)
北部広域市町村圏事務組合第53回定例会(議長/名護)
- 20日 伊江・西小学校卒業式(各校区議員)
- 22日 社協評議員会(正副議長)
- 28日 第3回伊江村議会臨時会(全議)
- 29日 伊江村役場退職者辞令交付式(議長)



各区総会において議員による議会報告

4月

- 1日 人事異動に伴う辞令交付式(議長)
- 4日 老人クラブ連合会総会(全議)
- 5日 城前共乾大型乾燥機改修完了お披露目会(議長)
- 8日 青年会総会(議長)
北部広域第52回臨時会(議長/名護)
- 9日 伊江・西小学校入学式(全議)
- 12日 さとうきび製糖終了報告会(議長)
- 14日 第27回伊江島一周マラソン大会(全議)
- 17日 パラシュート落下事故現場確認(全議)
- 18日 婦人会総会(議長)
- 19日 新任教職員歓迎会(全議)
- 20日 第24回伊江島ゆり祭りオープニング(全議)
アーニーパイル慰霊祭(議長)
- 21日 芳魂之塔平和祈願祭(全議)
伊江島灯台慰霊祭(議長)
- 25日 北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会(全議/名護)
沖縄防衛局へパラシュート落下事故に対する抗議(議長)
- 26日 沖縄県町村議長会定例理事会(議長)
沖縄振興拡大会議(議長)
本部警察署署長・署員歓迎会(副議長/本部)



北部地域の決起大会

5月

- 8日 子牛共進会(議員)
沖縄県町村議会常任委員長・副委員長研修会(議長、正・副常任委員長)
- 9日~14日 北部議長会海外視察研修(議長/石垣・台湾・マカオ・香港)
- 14日 ハイビスカス園落成祝賀会(全議)
- 20日 北部議長会第1回理事会総会(議長/東村)
- 21日 広報委員会
- 22日 野球場落成祝賀会(全議)
- 23日 商工会総会(議長)
- 25日 チャリティーなつメロタベ(並里議員)
- 28日 広報委員会

議決の結果

平成31年 第2回定例会(3月)

会期:3月8日~3月20日

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|---------|--|------|
| 報告第2号 | 平成31年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について | 原案報告 |
| // 第3号 | リリーフィールド公園施設整備工事(土木)の専決処分の報告について | // |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 原案認定 |
| 同意第1号 | 固定資産評価審査委員の選任について(知念和幸氏) | 原案同意 |
| // 第2号 | 固定資産評価審査委員の選任について(上間建雄氏) | // |
| // 第3号 | 固定資産評価審査委員の選任について(東江進清氏) | // |
| // 第4号 | 教育委員の任命について(宮城孝雄氏) | // |
| 議案第7号 | 平成31年度伊江村一般会計予算 | 原案可決 |
| // 第8号 | 平成31年度伊江村診療所特別会計予算 | // |
| // 第9号 | 平成31年度伊江村国民健康保険特別会計予算 | // |
| // 第10号 | 平成31年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算 | // |
| // 第11号 | 平成31年度伊江村水道事業会計予算 | // |
| // 第12号 | 平成31年度伊江村船舶運航事業会計予算 | // |
| // 第13号 | 平成30年度伊江村一般会計補正予算(第6号) | // |
| // 第14号 | 平成30年度伊江村診療所特別会計補正予算(第4号) | // |
| // 第15号 | 平成30年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | // |
| // 第16号 | 平成30年度伊江村水道事業会計補正予算(第2号) | // |
| // 第17号 | 平成30年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号) | // |
| // 第18号 | 真謝区・西崎区住環境負担軽減事業基金条例の制定について | // |
| // 第19号 | 伊江村子ども・子育て会議設置条例の制定について | // |
| // 第20号 | 伊江島ハイビスカス園の設置及び管理に関する条例の制定について | // |
| // 第21号 | 伊江村立幼稚園預かり保育料徴収条例の制定について | // |
| // 第22号 | 伊江村預かり保育時食事代徴収条例の制定について | // |
| // 第23号 | 伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について | // |
| // 第24号 | 伊江村職員定数条例の一部を改正する条例の制定について | // |
| // 第25号 | 伊江村税条例等の一部を改正する条例の制定について | // |
| // 第26号 | 伊江村母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について | // |
| // 第27号 | 伊江村体育施設の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について | // |
| // 第28号 | 伊江村特産品加工施設の指定管理者の指定について | // |
| // 第29号 | 伊江辺地に係る総合整備計画の変更について | // |

平成31年 第3回臨時会

会期:3月28日

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|---------|---|------|
| 報告第4号 | 村営第2城山団地建設工事(建築)の専決処分の報告について | 原案報告 |
| // 第5号 | 伊江島ハイビスカス園等整備工事(建築)の専決処分の報告について | // |
| // 第6号 | 伊江島ハイビスカス園等整備工事(土木)の専決処分の報告について | // |
| // 第7号 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について | // |
| 議案第30号 | 平成30年度伊江村一般会計補正予算(第7号) | 原案可決 |
| // 第31号 | 平成30年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号) | // |
| // 第32号 | 平成30年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号) | // |
| // 第33号 | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | // |